

人材育成研修「中堅・リーダー」南さつま会場 アンケート結果

日 時：平成29年2月15日（水）

場 所：南さつま市総合福祉センターふれあいかせだ 研修室

参加者：30名 回収：29名

1. 研修理解度（できた 1 2 3 4 5 できなかった）
実践活用度（役立つ 1 2 3 4 5 役立たない）

第1部 ケアを導き出すアセスメント

研修理解度

理解度	人 数
1	13
2	15
3	1
4	0
5	0

実践活用度

活用度	人 数
1	15
2	14
3	0
4	0
5	0

第2部 ニーズを引き出す対人援助

研修理解度

理解度	人 数
1	12
2	15
3	1
4	0
5	0

実践活用度

活用度	人 数
1	14
2	13
3	1
4	0
5	0

第3部 リーダーの役割OJT

研修理解度

理解度	人 数
1	10
2	17
3	1
4	0
5	0

実践活用度

活用度	人 数
1	10
2	16
3	2
4	0
5	0

第4部 気づきを促すコミュニケーション

研修理解度

理解度	人数
1	12
2	13
3	3
4	1
5	0

実践活用度

活用度	人数
1	18
2	7
3	3
4	0
5	0

印象に残った内容

第1部

- ✧ パーソン・センタード・ケア、マズロー欲求階層性理論等、知ることが大事。勉強しないとと思った。
- ✧ これまでと介護のやり方が変わってきていて、**BPSD** を行動サインとして捉えるというところが印象的だった。
- ✧ 認知症の人が求めている心理的な5つの要件。
- ✧ 現場の声、本人の声、家族の声を踏まえて目標に向けての認知症ケア。
- ✧ 中核症状から起きる **BPSD** を理解することによって、問題行動やサインを見逃さずにケアに役立つ。
- ✧ 認知症の理解が他の研修でも大事と言われていて、さらに深まりました。
- ✧ 改めてケアしていく中で、中核症状と **BPSD** の違いを知ってケアすることが大切だと思った。
- ✧ 自分がどれだけ認知症の方の思いを汲みとっているのか振り返る機会になった。
- ✧ 中核症状・周辺症状等、忘れてしまっている部分を再度振り返り、自分のケアも振り返る機会となった。
- ✧ 自分らしく生活すること。
- ✧ 以前も勉強した中身で、再復習できました。
- ✧ 問題行動ではなく、行動のサインとして捉える。
- ✧ パーソン・センタード・ケア、マズローの欲求階層性理論、**ICF** の視点が利用者をより深く知る為に必要な知識だと思うので、勉強していきたい。
- ✧ 認知症の心理状態。
- ✧ 認知症の人が求めている5つの要件。
- ✧ 認知症の中核症状、**BPSD** の再認識と認知症ケアの基本を理解することができた。
- ✧ 中核症状や **BPSD** など、少し忘れていた内容を再度思い返すことができた。
- ✧ **BPSD** の対応：問題行動と捉える。行動サインと捉える。
- ✧ パーソン・センタード・ケアについて（他多数）

- ◇ ICF の視点について詳しく勉強できた。
- ◇ パーソン・センタード・ケアや ICF について知らないことがあった。
- ◇ 表面的な症状に惑わされず、問題行動ではなく、本人の欲求（ニーズ）と捉え、見方を変えることでより良いケアを行っていけると思った。
- ◇ 基本を再確認できました。また、知らない言葉も知ることができました。

第2部

- ◇ 対人援助、他者への働きかける力も大事だと思いました。
- ◇ 生活歴が1人ひとりストーリーがあることを改めて考えさせられた。
- ◇ 自立への前向きな意欲に転換する。
- ◇ 察するという言葉を背景に意識したい。
- ◇ この計画の目標、誰のための計画。
- ◇ 利用者さんについてもっと知り、ケアに繋げていきたいと思った。
- ◇ 実際の現場での体験が等がより興味深く聞くことができた。
- ◇ 認知症の方のケアをするスタッフのかかわり方で、症状が悪くなったり、良くなったりする。ケアするスタッフの関わりが大切。
- ◇ 「記憶がないということは、どういうことなのか？」知っていた方がいい。自分か他人を疑うしかない。その思いが365日、24時間続く「さぞ、つらいだろうな」自分の心を揺らしてこそ「共感」・
- ◇ 自立支援に対応していくのにマズローの欲求を基にチェックしていくという事。
- ◇ エンパワーメント、アドボケーター初めて聞く言葉でした。
- ◇ 表情・口調での認知症の方の思情が変わる。
- ◇ 働きかけの力。
- ◇ 自分が変わるだけで、相手も変わる。
- ◇ 対人援助に対して、どの方にもできるのではないかと思った。
- ◇ メラビアン の法則は、対人援助の中でも大切であり、場合に応じて使っていけるようにしたい。
- ◇ 前向きな意欲。
- ◇ 他者へ働きかける力について
- ◇ コンビニでの具体的な対応、わかりやすかった。
- ◇ 知識はあっても、日常では仕事に追われて深く考えないことが多い。良い振り返りになれた。
- ◇ 認知症の利用者が真に必要なとするニーズを得るために、色々な視点から見ることが大事だと思った。
- ◇ 人間として大事な部分を教えていただいた。
- ◇ マイクの音量が小さく聞こえづらかった。
- ◇ 全体的に理解できたが、資料が無理に難しい表現してあるように感じた。

第3部

- ◇ OJT 内容が難しかったけど、勉強になりました。
- ◇ 幸せの連鎖＝起こす為には相手の背景まで読みとる力が必要と思いました。
- ◇ 自分自身を振り返る（他数名）

- ◇ ラーニングピラミッド、OJT、キャリアパス、自立度（他数名）
- ◇ 自分がどの位置にいるのか再確認し、後輩を育てる役を担っていきたいと思った。
- ◇ 同の倫理の意味を職場でもみんなで共有したい。
- ◇ 「同の倫理」・・同じ立場に立つように努力します。
- ◇ 相手の自立度に応じての接し方が大切。
- ◇ ラーニングピラミッドの存在を知った。教えることで初めて90%理解したことになるとかと認識した。
- ◇ ティーチング→教える、コーチング→見守る
- ◇ 自分の強みや弱みを確認することができた。
- ◇ 自分自身を振り返ることができ、何が足りないのか見直すことができた。
- ◇ 職場での人間関係の流れを、上手に作っていくという内容が勉強になった。
- ◇ 業務中に後輩に対して接する方法を考え直す、良い機会になった。

第4部

- ◇ コーチングスキルで自分で考えてもらって、気づきを促すための具体的な方法を知ることができてよかった。
- ◇ ティーチング、コーチング、傾聴のスキル（他多数）
- ◇ 初めての言葉でした、理解できた。
- ◇ 言葉の力ってすごい！！と考えさせられました。
- ◇ 気づかせることへの働きかけをしていきたい。
- ◇ 領き、目線、「ありがとう」のパワーの偉大さに気付いた。
- ◇ コーチングの3大スキルの大切さ。（他数名）
- ◇ 相手を褒めることの大切さ。
- ◇ コーチングとティーチングの活用方法も知ることができた。
- ◇ 常に考えていないと難しい。意識していきたい。
- ◇ 様々な質問方法・
- ◇ 自分の1番苦手なこと、初めての内容もあり... また、もう1回研修で勉強したいと思いました。
- ◇ 実際の自分の体験と照らし合わせながら考えることができた。
- ◇ 後輩に対する声かけは、自分にとっても勉強になりました。
- ◇ 難しかったです。毎日繰り返すことが大切みたいなので、頑張ります。
- ◇ 「ありがとう」という言葉の大切さ。
- ◇ 今後、今までと違うやり方で接していけるのではないかと思う。
- ◇ 「ありがとう」を使っていきたい。
- ◇

その他、意見や感想など

- ◇ 講義ごとに感想を書きたい。参加者の復習にもなると思います。
- ◇ 全体的に資料が多い割に、時間が少なく感じました。